

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」掛川校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3		4月より移転し対応。
	②	職員の配置数は適切である	5	1		4月より職員を2名増員で対応。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2		おもちゃをしまう倉庫のようなスペースがあるといいという職員の声を受け、4月の移転先ではおもちゃをしまう部屋を設置する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		毎朝清掃消毒を行っている。	集団活動では狭いため、移転で対応。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		支援等の振り返りが行えるよう申し送りの時間を設けている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		評価の実施はもちろん送迎時に保護者様と指導員・児発管とが話ができる時間を設けている。	ガイドラインに定める期間、評価表を配布。ご指摘いただいた内容について改善できるよう努めている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		HP及び校舎入り口に掲示し、公表をしている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		現在検討している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		年間で研修の予定を計画している。	
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		定期的にあセスメントを実施し個別支援計画に反映させている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		発達検査の結果をお持ちいただくよう声をかけさせていただいている。	必要に応じ発達検査に利用する道具を使用し、特性を把握している。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		支援時に保護者からの日々の様子や困り感などの聞きとり、また、状況に応じ園に出向き先生方の話を伺い、職員間で共有し具体的に支援の内容を設定している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		常に計画を見ながら支援準備を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	朝礼にて、支援内容を検討している。	主に、担当者がプログラムの立案を行う。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		常に教材や課題の研究を行っている。	月1回の定例研修と外部研修に参加している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		年長児には集団活動「学校ごっこ」を行う等子どもの状況に応じ作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	朝礼行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		朝礼で申し送りをしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		キントーンを利用し、PCで管理。	毎回プログラムを作成し、表れを記録、検証・改善を行っている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		モニタリング会議を行い、保護者様の聞き取りを行ったうえで、計画の見直し会議を行っている。	必要に応じ、園に出向き意見をお伺いしている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		参加できるよう勤務調整を行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	市や園と積極的に連携をとるよう努めている	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6		扱っていません
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6		扱っていません

	⑳	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保護者様の同意を受け積極的に行うよう努めている。	
	㉑	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保護者様の同意を受け積極的に行うよう努めている。	
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	研修に参加している。	
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4		現状行っていない。
	㉔	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	参加している。	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		支援後、保護者とお話をする時間を設け、支援についてや日々の様子を伺っている。	
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5		集団の相談会を開催し、簡単ではあるが、行っている。	支援を見学していただき、声掛けなどの工夫を伝えている。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		重要事項説明書に詳細を記載し、契約時説明を行っている。	変更の際も同様に説明を行っている。
	㉘	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		同意をいただきサインをいただいている。	必要に応じ計画の見直しを行っている。
	㉙	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		モニタリング時には時間をいただき、悩み等を伺っている。	
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		集団相談会を年2回ほど開催し、交流がもてるように支援している。	
	㉛	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		いつでも相談にのれるよう体制を整えている。	必要に応じ、相談支援事業所や園と連携をとれるようにしている
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		定期的にブログやインスタ、ラインなどを使い発信している。	行事予定や様子を入り口に掲示している。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6		個人情報の書かれた資料や PC などはカギのかかった場所に保管し、持ち出しを制限している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		特性に応じて絵カードやマカトンサインなどを利用し、外国籍の保護者には母国語の書類を用意している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		現状行えていない。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		避難先など、契約時、に配布・説明し、入り口に掲示。	各種マニュアルはいつでも閲覧できるようにし、定期的を確認を行っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		毎月様々な場面を想定した訓練を実施。	利用者や保護者の参加をお願いしている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		契約時、新年度ごと聞きとり、書面にて確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	契約時、新年度ごと聞きとり、書面にて確認している。	食事提供は行っていないが、グループ活動等で市販の菓子を提供する際、その都度確認している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		報告書を作成し閲覧している。	1年に1度、危険箇所はないか話している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		毎年研修を行っている。	県西部地区のきらりて委員会を設置している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		重要事項説明書に詳細を記載し、契約時に説明。	個別支援計画にも記載し、説明を行っている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」掛川校

保護者等数（児童数）：10人回収数：7人割合：70%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1	1		室内は良いが入口が道路に面していて危険。	移転します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	2				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	1				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7				今、必要な力や、困っていることにすぐ対応してプログラムを作ってくださいます。本当にありがたいです。	ありがとうございます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	1				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4		1	2		
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	2				
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	1			活動終わりだと、なかなかお話しする時間が取れない。	気軽に相談にのれる環境を整え、「お悩み相談室」が周知されるよう努めてまいります。活動中でも、いつでも児発管にお声をかけてください。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7				話をしたいと思うタイミングで相談を入れてくださり、適切な支援をいただいています。	ありがとうございます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	2		1	コロナ禍で難しいかもしれませんが、違う学年の保護者とも話してみたいです。	放デイの保護者も参加されるきりカフェの開催の充実を図ってまいります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	1				
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7					
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2				
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7				・とても楽しみにしていて、活動中もとても集中して取り組んでいる。 ・他の習い事は「行くのいやだな。」と言ったことがあります。	指導員の励みになるご意見ありがとうございます。 楽しんでいただける課題を提供できるよう日々精進してまいります。

						きりりに行くときはそういうことを言ったことはありません。いつも楽しみにしています。	
②	事業所の支援に満足しているか	7				支援を録画、ZOOMで配信してほしい。	いつでも見学をしてください。ZOOMでの配信等も検討してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。